

岸和田地区 保護司会だより

【発行】岸和田地区保護司会 岸和田市野田町1丁目5番5号 opsol福祉総合センター2階
 新田 賢一 TEL 072-438-6660
 【発行責任者】根来 亮裕 【印刷所】シメノ印刷工業株式会社

2025 (令和7)年



和泉市リサイクル公園「チューリップ畑」井上富美子撮影

樋川	監事	藤谷	坂田	阪井	柿本	奥田	大家	岩崎	岩根	池内	理事	青野	會計	寺田	書記	高瀬	副会長	金田	新田	会長	相談役	野久壽喜
泰博	城巳	一善	桂輔	和博	正明	月子	泰弘	久良	郁代	幸治	矢一	恵子	博	伸一	隆行	賢一						

令和7年度～8年度
役員

～ 保護司信条 ～

私たち保護司は、社会奉仕の精神をもって、

1. 公平と誠実を旨とし、過ちに陥った人たちの更生に尽くします。
1. 明るい社会を築くため、すべての人々と手を携え、犯罪や非行の予防に努めます。
1. 常に研鑽に励み、人格識見の向上に努めます。

二期目を迎えて

岸和田地区保護司会

会長 新田 賢一



新年度に入り、4月18日(金)の定時総会を経過して、二期目の会長としての活動をしています。

1期目(2年間)を振り返ってみますと、本会の事業を一通り進める中で、会員の皆様並びに関係機関・団体の皆様方からの多大なるご支援をいただきました。厚く御礼を申し上げます。

さて、現代社会が著しく変化してきている中、更生保護の分野におきましては、令和5年の3月に、新たに第二次再犯防止推進計画が策定され実行されています。犯罪をした人等が、矯正施設を出て、社会復帰を果たしたものの日常生活に息苦しさを覚え、孤独や孤立に陥り、再び罪を犯すことがあります。このようなことから、これまでの矯正施設内での教育の見直しを始めとし、社会復帰につなげた後は、地域が受け継ぎ、犯罪をした人等が安定した生活ができるための地域における支援ネットワークづくりを充実することによって、矯正施設から地域社会へと継ぎ目なく支援を繋いで行くことができるならば、再び罪を犯すことなく、新たな被害者を生むこ

とはないであろうと「息の長い」継続した社会復帰支援の推進が盛り込まれました。

又、同時に犯罪をした人等への支援だけに留まらず、犯罪で被害を受けられた方々に対しても、寄り添いながら、その思いに適切に応じていくことの重要性も併せて取り上げられてい

ます。これらのことは、単に更生保護活動内における事柄だけに留まることなく、最終的には、広く一般社会内でのこととして「人々が助け合い、支え合う精神」が、安全・安心して生活ができる地域を実現していくことにも繋がっていくものと思っております。

本年度も、犯罪予防活動の中心である「社会を明るくする運動」を展開しながら、地域の皆様方にも更生保護活動にさらに一層のご理解とご協力をいただき、岸和田市の「安全で安心して生活ができる町づくり」の目標に向けて努力してまいります。引き続き、宜しくお願いいたします。

総会へのごあいさつ

岸和田地区更生保護女性会

会長 長田 喜代子



新緑の季節を迎えました。岸和田地区保護司会総会のご盛会お祝い申し上げます。

保護司会の皆様には、平素より更生保護女性会の活動に御支援御協力

ごあいさつ

岸和田地区協力雇用主会

会長 寺田 歩



今の役職を仰せつかって一年が過ぎ、ようやく全体的な状況や流れを感じる事が出来るようになってきました。

やはり罪を犯した少年を雇用するにあたっての難しさが解っているつ

を賜り感謝でございます。

更生保護活動のひとつには、特に3団体で共に取り組んで来ております。社会を明るくする運動は、私たちの活動目的と市民の方々の理解とを繋げていく大切な活動であります。毎年の市民集会は、犯罪の予防に向けて地域の人達に更生保護についての理解を深めていただく事業です。犯罪内容も低年齢化の状況から3団体が一丸となって、防止活動へと繋がることの願いから『寸劇』等を実施しています。きつと更生保護活動の普及に活かされることでしよう。今後も皆様に更生活動への御協力をお願い致します。

もりでも、それは雇用主側の立場であって、雇われる側の気持ち解っていない場合が多く、不満を募らせて辞めていく事が多いのも事実です。

保護司の皆様のお力をお借りして、お互いのコミュニケーションを大事にすることで仕事を続けていける環境を作ればと思っております。

またこの度、大阪府の協力雇用主会で連携して名簿作成が進められ、他地区の雇用主の業種を見ることができるようになりました。このことで罪を犯した少年の希望する業種の選択肢が広くなりました。

これからは罪を犯した少年の働く場を多くして、更生に寄与出来る会になるよう頑張っていきたいと思っております。

表彰・感謝状の栄誉を受けられた方々
 令和六年秋の叙勲において、また大阪更生保護大会において、次の方々が受勲・表彰を受けられました。

瑞宝双光章

新田 賢一

法務大臣表彰

阪井 正明
高瀬 伸一
根来 慶悟

**全国保護司連盟
理事長表彰**

池内 矢一
柿本 孝治
古松 大一
米田 大介
山下 一介

**近畿地方更生保護委員会
委員長表彰**

西上 義昭
西出 宣子

**近畿地方保護司連盟
会長表彰**

今口 一美
岩根 幸治
野村 恵子
渡辺 誠夫

大阪府知事感謝状

古石 健一

**大阪保護観察所長表彰
(保護司功労)**

青野 恵子

**大阪保護観察所長表彰
(永年勤続)**

奥田 隆弘
金田 泰行
櫻井 新嗣
白樫 進
野口 治
西村 秀喜
樋口 泰城
畑中 陽

**大阪保護観察所長感謝状
(協力雇用主)**

株式会社 阪祥
代表取締役 阪祥 男

**大阪府保護司会連合会
会長表彰**

赤坂 圭子
重綱 彦也
佐藤 英三
津田 祐三
西村 順子
山元 芳裕



このたび、令和6年秋の叙勲において瑞宝双光章を受章する栄誉を賜り、誠に光栄に存じます。これもひとえに、保護司会の皆様、歴代の地区担当保護観察官の皆様をはじめ、岸和田市内の関係機関・団体の皆様のご指導・ご援助があったればこそと感謝を申し上げます。

今後も、今回の受章に恥じないよう、これまでと同じく、地域で育てていただいたことへの恩返しが少ないでもできたと思いなから、保護司としての活動を続けさせていいただくことになりませんが、安全で安心して暮らせる町づくりに貢献できるよう、根気強くさらなる努力をしていかなければならないと思っております。また、地区会長としての活動も微力ではありますが、犯罪予防活動と対象者に対する処遇活動を中心とし、充実した更生保護活動ができますように、引き続き取り組んでまいります。と思っています。

さて、委嘱を受けましてから今日まで、多くの対象者と接してまいりましたが、十分なサポートが行き届かなかった反省も多々あります。

皆様には、これからも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

受賞挨拶

阪井 正明



この度、法務大臣表彰を頂きました。誠に光栄で、身に余る思いが致します。これも偏に保護司関係の皆様のご指導ご支援あつての事と感謝申し上げます。

私は普段神職をしておりますので、地域の皆様との関わり合いは深いのですが、罪を犯す者への思いは疎いところがございました。氏子さんから保護司のお誘いを頂

きました。私に務まるのかどうか不安がございました。お話を聞いてみるうちに何でも人生経験だと思ひ、お引き受けすることに致しました。

平成16年1月25日に保護司の委嘱を受けました。

新任の頃、対象者をどこまで見れば良いのか？判断に苦慮したことを思い出します。

老若男女色々なケースの対象者

法務大臣表彰を受けて

高瀬 伸一



令和6年10月31日法務大臣表彰を頂きました。岸和田地区保護司会の皆様方のご指導ご鞭撻の賜物だと心より感謝申し上げます。

平成16年1月25日保護司の委嘱を受けました。

保護司との出会いは、地域の非行や不登校の会に参加されておられた(故)青木信夫さんから保護司

というボランティア活動があるとお話をお聞きしたことに始まります。委嘱を受け早速、保護観察の少年を担当しました。当初は、暴走行為や窃盗を集団で事件を起こすことが多く、分会で複数人を分担して、一人で何人もの担当をすることがありました。

現在では、大麻など薬物関係の

を見て来ました。約束の時間を守らない、変更を間際になって言ってくる、連絡がつかない等困難なことは多々ありました。20年経過し、どんな事があったとしても驚かないし、慌てる事もなくなりました。

この保護司の経験が自分自身の心をも豊かにしていることと、思っております。

これからも表彰を受けたことに感謝しつつ、保護司活動に頑張つて参りたいと存じます。今後共、皆様方のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

担当が中心になり対象者の家庭環境も大きく様変わりしていましたが、数多くの対象者に関わってきたなかでは、自分の人生経験で想像もできない生育歴の少年もありました。初回面接で、母親と、けだるそうに訪れていた少年が解除時「大学に行くねん」と大きく成長した姿を見せてくれたこともありました。

これからも対象者の生活を共有しながら、すこしでも彼らの残りの人生が実り多くなるよう微力ですが保護司活動を続けていきたいと思ひます。

第74回

“社会を

明るくする運動”



内閣総理大臣 メッセージ伝達式

令和6年6月7日(金)午前9時から、岸和田市長公室において、更生保護3団体と永野耕平市長、関係部課長参加による、第74回“社会を明るくする運動”内閣総理大臣メッセージ伝達式を実施しました。

まず、新田賢一“社会を明るくする運動”岸和田地区推進委員会委員長の挨拶の後、岸田文雄内閣総理大臣のメッセージが伝達され、市長からご挨拶をいただきました。その後、金田隆行保護司会副会長から、昨年同様に市民集会だけでなく矯正展を開催すること、小・中作文コンテストの開催や岸城中学校との岸和田駅落書き消しについて報告されました。特に、活動後落書きがなくなっており、今年もその効果が期待されています。また、更生保護各団体からの意見交換会では、他団体との連携強化や、人材育成、研修会の開催、他地区との連携等について話し合いがなされました。

市民集会

第74回「社会を明るくする運動」市民集会は、7月6日(土)午後1時30分より南海浪切ホールにて、「2024年度少年非行・被害防止、暴走族追放強化月間」第74回「社会を明るくする運動」(犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ)のテーマのもと、『社会を明るくする運動』岸和田地区推進委員会の主催で実施されました。

オープニングでは、大工町青年団鳴り物係による勇壮なだんじり囃子が披露されました。会場に響き渡る鐘や太鼓の音で一気に盛り上がりました。

第一部の式典では、新田賢一岸和田地区推進委員長と永野耕平岸和田市長の主催者挨拶に始まり、大阪保護観察所界支部統括保護観察官・寺田



大介様、岸和田市議会議長・鳥野隆生様、大阪府岸和田警察署生活安全課長・辻野英樹様の来賓挨拶に続き、来賓紹介主催者紹介がありました。

第二部の講演は、大阪府警察本部生活安全部少年課・大阪府岸和田少年サポートセンターの上野裕二様より、「闇バイトの危険性」と題して、スライドを駆使して分かりやすくお話を頂きました。社会的にも闇バイトの問題が度々取りあげられることもあり、タイムリーな話題として、参加者はみな熱心に聞き入りました。

最後に、岸和田地区協力雇用主会会長・寺田歩の決意表明をもって閉会しました。

また、協賛事業として、多目的ホールにて「矯正展」(刑務所作業製品展示即売会)が実施



された。会場には多くの方が訪れ、受刑者の人たちが社会復帰に備えて丹精込めて製作した商品を買って求めています。

岸城中学校との連携

岸城中学校による南海岸和田駅周辺の環境浄化活動も、今回で7回目となりました。夏休みに入った7月25日(木)、大変暑い中、総勢224名の参加を得て、落書き消し、ゴミ拾い、啓発活動を行いました。

この活動は、「社会を明るくする運動」の犯罪予防活動の一環として実施し、岸和田警察署、岸和田少年補導員連絡会、



この活動を通じて、岸和田市の更生保護ネットワークの強化を図り、「社会を明るくする運動」の取り組みを推進していきたいと思えます。

主任児童委員との交流

令和6年9月5日(木)

福祉総合センター2階において、主任児童委員部会に招かれて、保護司会から新田、丸山、金田が出席しました。これは、主任児童委員さんから保護司のことについて話してほしいとの依頼があり実現したもので、最初に、第74回「社会を明るくする運動」広報動画のDVDを視聴していただき、その後、保護司の活動について、それぞれの体験談を発表させていただきました。



主任児童委員さんからは「保護司の活動や岸和田市の状況などを知ることが出来る」との声があり、保護司会としても、関係する団体との交流は重要であると再確認しました。

作文コンテスト

第74回社会を明るくする運動の一環として、作文コンテストを実施しました。今年も学校関係者にもご協力をお願いし、応募校が小中学校とも増えました。関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。小学校の部門では8つの小学校から541作品、中学校部門では7中学校から1105作品の応募を頂きました。その中から各学校で選ばれた小学生24作品、中学生33作品を審査させて頂きました。その結果、委員長賞に水内柚良さん(常盤小6年)と大皿蒼依さん(春木中1年)、市長賞に松林杏さん(常盤小6年)と釜下こころさん(久米田中1年)、市議会議長賞に上田莉々歩さん(天神山小5年)と筒井翔さん(光陽中2年)、教育長賞に美藤夏那さん(常盤小6年)と藤原優妃さん(山滝中3年)が選ばれ、令和6年9月24日に市長公室において表彰式が行われました。応募下さった皆さんにご指導頂いた先生方に、心より御礼申し上げます。

※受賞者の学校学年は実施時のもの

泉州寮生激励会の開催

令和6年10月27日(日)、コロナ禍で開催されていなかった、泉州寮生との激励、交流をはかるパーベキューを6年ぶりに、保護司会4名、更生保護女性会5名、泉州寮職員3名及び寮生5名の総勢17名の参加のもと開催しました。

当日は天気も良く、暑くもなく、寒くもなく、最高のパーベキュー日和でした。

計盛泉州寮施設長のあいさつに始まり、新田保護司会会長のあいさつを皮切りに、更生保護女性会の皆さんに準備していただいた、お肉、野菜、飲み物で、パーベキューの開始と思いきや、当日用意するはずのコップ、皿、箸の準備忘れで、急遽買い足して、お詫びとともに改めて乾杯。

寮生たちの食欲に負けじと、どんだんお肉を焼くのですが、なかなか追いつけない状態でしたが、「美味しい美味しい」を連発されると、「なにくそ」と思いながら、焼き続けました。

また、更女の奥田さんに持ってきていただいた、串に刺したイカがめちやくちや美味しくて、焼きながら何本も食べてしまいました。(寮生ごめん)

寮生の一人が「こんな美味しい焼肉を食べれるなら、またこへ

戻ってこようかな」と言うので、「何言うてんねん、しっかり自分で働いたら、もっと旨いもん食べるやろ。これからもがんばれ！」と笑いながら話をしました。

寮生の中には、バンドをやっている者や、ユニクロのTシャツのデザインをして、販売にまで至っている者もいて、多種多芸に秀でた寮生もいました。

今後の活躍が楽しみです。ぜひぜひ。

宴もたけなわとなり、寮生へのお菓子のお土産、更生保護女性会から靴下やタオルのお土産をプレゼントしたのち、泉州寮施設長 計盛 成教さん、更生保護女性会会長 長田 喜代子さんから閉会のあいさつをいただき、楽しい一日を終了しました。

泉州寮生激励会は今後も続けていきます。



一泊研修

11月12日(火)・13日(水)の二日間、2年に一度の一泊研修を実施致しました。

前回(令和4年)はコロナの影響がありました。今回は制限なしの旅行となりました。

参加人数は25名で、トイレ付き、後方座席はサロン式のバスを用意してもらい、参加者全員に菓子等飲み物を配り、ガイドからコーヒー等のサービスもあって、ゆったりとしたバス旅行となりました。

車中では、罪を犯してしまった人たちの更生、社会復帰を目指して奮闘する保護司の姿を描いた岸善幸監督作品「前科者」(2022年製作)で、映画に描かれた保護司をDVDで鑑賞頂き研修の一環と致しました。



行き先は先ず兵庫県豊岡市の花水木本店で皿そばの昼食、その後「出石城下町」を自由散策して頂きました。次に兵庫県美方郡香美町の「川会山長楽寺」で、世界最大級の木造三大

仏(但馬大仏)を拝ませてもらい大きさに驚かされ一日目を終了。

宿泊は同町の湯村温泉「佳泉郷井づつや」で、温泉も料理も良かったと皆様に好評を博しました。

二日目、兵庫県美方郡温泉町漁港近くの「マル海渡迎水産」で先ず海産物等のお買い物。

次に鳥取県へ入り、「砂の美術館」を見学。

今年フランス編。ノートルダム大聖堂、ヴェルサイユ宮殿等、多くの砂像作品に驚きと感動を憶えました。鳥取砂丘会館でかにすしと箱盛御前の昼食。「鳥取砂丘」で暫く自由行動の時間を過ごし、二日間の行程もこれで終了。



皆様のご協力によって、予定より早く帰路に着くことが出来ました。

今回は、風情ある城下町を散策、但馬大仏に驚嘆、砂像の素晴らしさ、砂丘の自然に触れて頂いての会員各位交流親睦を図る良き研修会となりました。

新年の集い



1月18日(土曜日)の午前11時から岸和田グラウンドホールに於いて恒例の「新年の集い」を開催致しました。

当日は多くのご来賓の方をお迎えして保護司・保護司OB会・更生保護女性会・協力雇用主会の皆様が参加して和やかな集いとなりました。

第一部はご来賓の方にご挨拶をいただきました。次いで令和7年新年を寿ぎ更生保護女性会の皆様により祝吟をご披露していただきました。練習の成果が良く出ていて皆様揃った祝吟でした。

第二部は祝宴となります。美味食事を召し上がりながらの楽しい懇親の場になったの

視察研修会に参加して

令和7年3月5日、あいにくの雨模様の中、浪速少年院に保護司34名で訪問させて頂きました。おしゃれな建物で明るく、イメージが少し違って驚きました。午前中にしだれ梅と椿が有名な城南宮神苑に立ち寄り、咲き始めの梅と椿を鑑賞、来苑の方も少なくゆつくり回る事ができました。午後からは浪速少年院にて昨年9月に放映された毎日放送「おかえり」で「再教育支える大人たち」のテーマで浪速少年院が取り上げられ、在院者の平日の標準的日課の紹介や矯正教育の内容説明の録画を見せて頂きました。次に実際に電気工事や、木工、パソコンを訓練する部屋や建物の中を見学しました。入院から出院までのおむね11ヶ月で、主な教育内容として生活、

ではないかと思えます。途中で琴伝流「大正琴の千鳥会」の皆様が新年に相応しい大正琴を演奏して祝宴に花を添えていただきました。千鳥会の皆様ありがとうございました。恒例の抽選会では幸運にもプレゼントが当たった人も当たらなかった人も今年が良き年になる様に願いました。最後に更生保護女性会の皆様や地区委員の皆様にご挨拶していただき「ひまわりのうた」を全員で合唱してお開きとなりました。



職業、教科、体育指導に分かれています。職業指導では職業上有用な知識や技術を身につけるための指導で、電気工事やパソコンの資格を取ったりします。教科指導では高等学校卒業程度認定を受けることができ、体育指導では駅伝や運動会、サッカーではJリーグの選手を呼んでの指導など充実した内容です。出院後すぐに就労できる技術を得ることは、再犯防止につながる、また孤独を感じない居場所づくりをしていることに感銘を受けました。更生への思いを同じくする保護司として、新たに自覚と責任を感じた視察研修となりました。参加者及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



定例会報告

本年度も皆様のご協力のもと統一研修、自主研修を開催できましたのでご報告させていただきます。

◇統一研修

講師 大阪保護観察所

堺支部 主任保護観察官

下村美和子氏

◎第一期地域別定例研修

令和6年6月14日

テーマ「保護司としての基本的な姿勢」

◎第二期地域別定例研修

令和6年9月6日

テーマ「性犯罪者処遇について」

◎第三期地域別定例研修

令和6年12月13日

テーマ「良好措置と不良措置（刑法等の一部改正等を踏まえて）」

◎第四期地域別定例研修

令和7年2月14日

自由テーマ「寮生との取り組みと信頼関係について」

講師 大阪保護観察所

堺支部 主任保護観察官

下村美和子氏

更生保護法人泉州寮

施設長 計盛成教氏

「ありがとう」の一言を大

切に、寮生を信用し自主性を尊重する中で自然に規則を守っていくことに感銘を受けました。

◇自主研修

◎第一回

令和6年5月24日

テーマ「先輩保護司の体験談」

講師 保護司会相談役

野久壽喜氏

貴重な体験を伺い勉強になりました

◎第二回

令和6年10月4日

テーマ「グループワークによる処遇会議」

講師 大阪保護観察所

堺支部 主任保護観察官

下村美和子氏

◎第三回

令和7年3月5日

施設参観「浪速少年院」

円滑な社会復帰を目指すため、入院一人一人が寄り添い支えてもらっていることがよくわかり勉強になりました

◎新任保護司研修

令和7年2月14日に実施しました。

今年度もお世話になりました。これからも研修部一同協議を重ねさらに充実を期してまいります

新任保護司の紹介



3分会
荒木 正

このたび保護司を拝命し、新たに先生方のお仲間に入れていただくことになりました。なにとぞよろしくお願ひ申し上げます。

私の父も保護司でした。その節は先生方に一方ならぬお世話になりました。謹んで厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

初めて保護司の世界に接した大阪での新任研修会では、怒涛のように押し



10分会
久保園俊治

新しく保護司として活動をさせて頂くこととなりました。3年前の春大阪府警察を定年退職し現在は岸和田市役所で勤務しております。警察在職中は、留置管理業務も僅かですが責任者として携わり、窃盗犯、薬物犯、暴力犯等多くを見てきました。刑事事件に従事、指揮監督することは無かったのですが、その分被留置者の心の葛藤、不安、苦しみ、悔しさを垣間見てきま

寄せる様々なお話にオドオド、ソワソワ、オロオロし、不安と心細さで何が何だか状態になりました。しかしその後、岸和田地区保護司会の集まりに参加し先生方にお会いするたびに、新田会長をはじめ3分会の先生方からお声を掛けていただき、オロオロは心丈夫になりました。

いよいよ保護司の実際の務めを迎えます。その責務をよく理解して、春秋に富む若者に寄り添い、その自立に少しでも寄与できるように、緊張感を持って精一杯努力する所存です。若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

した。刑務所で刑期を終え出所直後に何人かは挨拶に来てくれましたが、ある青年は母親を伴い親子で涙ながらに更生を誓ったにも関わらず、直ぐに薬物で検挙され現在留置中の旨の手紙でした。現職だったこともあり「もう知らん。」と突き放したことが今でも心残りです。刑務所の出入りを繰り返している者、出所の度に連絡が来れど、暫くするとまた音信不通となる者。真面目に生きようと努力しているが挫折する者も多く、今後は真正面から相手を見据え微力ながら更生の手助けになればと考えています。

退任保護司

令和6年8月31日付

(途中退任)

矢野 初男

令和6年9月24日付

(任期満了)

木岡 仁司

令和6年9月24日付

(任期満了)

根来 信彰

令和7年1月24日付

(任期満了)

大塚 一郎

敬吊

名誉会員で次の方々をご逝去されました。生前のご功績を偲び、謹んでお悔やみ申し上げます。

楠本 惣一

(令和6年4月8日)

加守田 卓義

(令和6年7月12日)

大木 春郎

(令和6年8月17日)

編集後記

本年度の『保護司会だより』は、役員改選に伴い5月の発刊となりました。

此度、選出された役員の方々には、ご苦勞に存じますが任期満了まで宜しくお願ひ致します。

さて、保護司活動も、社会の変遷に応じて、多岐になってきておりますが、人々が、日々安心して生活ができる明るい社会の実現に向けて努力してまいります。

お忙しい中、寄稿下さいました皆様には感謝申し上げます。



※文中の肩書は当時のものです。